

授業計画書(シラバス)

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	前期: 木9:00-17:00 後期: 月9:00-17:00 木9:00-17:00	担当教員名	准教授 中神 牧子
-----	---------	----------	---	-------	--------------

	前期指導案		後期指導案	
	(3年間 9授業 日)	4月	16 23	10月
	5月	(7) 14 21 28	11月	2 5 9 12 16 19 26 30
	6月	4 11 25	12月	3 7 10 14 17 21
	7月	2 9 16	1月	14 18 21 25 28
	9月	3	2月	1
方授 法業	(講義 ・ 実技)		(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>初めに、安全面を第一にホットショップの設備の名前や役割を紹介する。 溶けているガラスを竿で巻き取る練習から基礎練習を集中的に行う。 基礎練習: ドロップ・・・ガラスを巻いてたらしめる マール・・・ガラスの球を綺麗に作る キャップブロー・・・一回巻きしたところへ親指で素早く竿の口元を閉じるように息を吹き入れる ブローホースの使い方と、基本の球練習 ポンテ・・・球にポンテをとって口元を広げていく</p> <p>リサーチ① シンプルな形 ガラス50 その他50 課題①: 基本の形を練習 シンプルな形を決め、同じ形を何度も練習することによって技術練習をする。同時にそのシンプルな形を使って作品にしていくことも学ぶ。リサーチやスケッチをたくさんする中から、創造性を高め、新しい発想やアイデアを深める。 リサーチ② 次の課題に関するリサーチ</p>		<p>課題③ (9回) 前期の成果と学生のやりたいことからの課題 実験を中心にテストピースを制作 スケッチやリサーチから作品を発展させていく。 例: 五感(臭覚、触覚、視覚、味覚、聴覚)デザインベース、本</p> <p>リサーチ④ 次の課題に関するリサーチ 課題④(10回) 自由課題or発展課題 吹きガラスの特性を考え、新しい可能性を探る。 スケッチやリサーチを通してどんどん自分の引き出しの中にアイデアを貯める</p> <p>各課題ごとにクラス講評を行い、作品発表について実践し、考察していく また、他の学生の意見から新しいものの見方、捉え方を学んでいく。</p>	
到達 目標	<p>竿の持ち方、ガラスの巻き方から始め、溶けたガラスを安全に扱うための基礎を学び、課題制作を通してガラスの特性を理解すると同時に、ホットワークの基礎的知識と技術を学びますまた様々な芸術やデザイン、文化等の見識を広げるためリサーチすることを身につけていきます。最終的に作品とし展示できるところまで空間意識や完成度も含め検討していきます。</p>		<p>学生の興味、特性を生かし各々のホットワークとの関わりを模索していく。またクリエイティブなアイデアを発展させるべくスケッチやリサーチを進め、学生自身で目標とする部分を理解し、技術中心で実習していく場合もあれば、アート性の高いクリエイティブな実験や発表を探り、作品を展示するところまで仕上げていきます。</p>	
成 績 評 価	<p>出席率/授業態度、授業への取り組み方/提出物/課題に対する捉え方、アイデア出し、作品スケッチ/リサーチに対する取り組み/課題作品の展示/完成度や出来映えなど</p>		<p>出席率/授業態度、授業への取り組み方/提出物/課題に対する捉え方、アイデア出し、作品スケッチ/リサーチに対する取り組み/課題作品の展示/完成度や出来映え アイデアの言語化 など</p>	
留 意 事	<p>ブローパイプ作り(4/16) 授業時は、綿100%の長袖、長ズボン、燃えにくい靴で吹きガラス用の保護メガネをつける。</p>			